

水泳指導



6月13日から、水泳の学習が始まります。1年生にとっては初めての桃五小の水泳、大きなプールに入るのを楽しみにしている子も多いでしょう。2年生以上の子は、昨年度よりも泳げる距離を伸ばしたい、泳法を上手にできるようになりたい、との思いも強いと思います。意欲的に取り組むことはよいことですが、無理をしてしまうと命にかかわる事故につながります。学校では水にかかわる事故を防ぐために、安全を第一に指導していきます。どうぞご家庭でも、お子さんの体調をしっかりと確認するようにして、体調の悪いときは無理をさせないようにお願いします。また、更衣中や指導中の感染対策を十分にしながら指導をしてまいります。

ご家庭においては、水泳学習がある日は、毎回体温や食欲・睡眠等、健康観察を十分に行い、その都度カードに必ず記入、サイン又は押印し、「参加・不参加」を明確にしてください。また、健康診断の際に「治療のお知らせ」をもらった人は、早めに治療を済ませてください。（未治療の場合、水泳に参加できません。）

※水泳の学習時間割や、持ち物など、詳しい内容については、本日配布の水泳のお知らせをご覧ください。



桃五のICT活用

昨年度導入されてから、1人1台の端末を十分に活用できるよう、授業の改善に取り組んできました。一人一人の考えをスピーディーに共有したり、動画や写真機能を使って視覚的にわかりやすい授業展開を行うことで、自分の考えを広げることができたり、客観的に自分を見ることができるようになりました。教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、端末が筆箱のような「あたりまえ」の道具として使えるように、これからも指導をしていきます。

同時に、情報モラル教育についても力を入れていきたいと考えています。情報機器が上手に使えるようになると共に、社会や他者と情報をやり取りする中で、危険を回避し責任ある行動ができるようになることが必要です。情報社会の中で、上手に生きていくために必要な考えや態度が身に付くよう指導していきます。

〈これまでのICT活用例・これからの指導例〉

考えをまとめる	シンキングツールを使い、自分の考えを分類しました。考えを整理したことで、意見文や感想文を順序良く書くことができました。
視覚的に捉える	跳び箱運動やマット運動などで、自分の技を動画で撮影し、視覚的に課題を把握することができました。客観的に課題が把握できたことで、自分の成長も確認しやすくなりました。
情報モラルを育てる	タブレットの使い方、使う時間、自分と相手のちがいが、パスワードの大切さ、SNSの上手な使い方、情報の上手な検索の仕方などについて学びました。